



## 東京高裁包囲デモ 新やぐら 監視控訴審



監視やぐら・看板の撤去は許されない！  
市東さんの農地は空港会社のものではない！

10月20日、東京高裁第2民事部（渡部勇次裁判長）で新やぐら裁判控訴審・第1回が開かれました。

裁判に先立ち、駆けつけた90人の仲間とともに東京高裁を包囲するデモ行進を行いました。

この裁判は、市東さんの天神峰農地に建つ反対同盟所有の監視やぐらや看板などの撤去を空港会社（NAA）が求めて提訴したものです。

しかし、NAAによる天神峰農地の取得は無効です。地主は耕作者である市東さんに知らせることなく空港公団

（現NAA）に農地を売り、その後も市東さんから小作料を受け取り続けていました。15年も経った後にNAAは農地の移転登記を行い、その新聞報道で市東さんは初めて農地が売られていたということを知ります。

このような詐欺（さぎ）的な手法で農地を取得することは憲法にも農地法にも違反したものです。NAAにやぐら等を撤去せよと訴える権利はありません。法廷では、弁護団と萩原富夫さんの意見陳述（2面）が行われました。

## 12/6 耕作権裁判・千葉地裁包囲デモ

12月6日(月) 午前9時

千葉市中央公園集合

集会後、千葉地裁に向けてデモ行進

午前10時30分 開廷 601号法廷

10・20新やぐら控訴審での萩原富夫さんの意見陳述を紹介します。(要旨)

### ●三里塚芝山連合空港反対同盟の立場

反対同盟は結成以来、一貫して成田空港建設に反対してきました。当初、隣町の富里に計画されていましたが、住民の猛烈な反対運動で頓挫。そこで政府は、県知事とだけ相談して閣議決定に持ち込みました。まさに寝耳に水の決定だったのです。

私の義父の萩原進事務局次長は、反対運動のはじめは国や千葉県などへの陳情に120回も行ったそうです。しかし全く相手にされず門前払いで、大変悔しい思いをしたと聞きました。

この問答無用の空港建設の手法のために、農民はことあるごとに体を張って闘わざるをえません。外郭測量からボーリング調査などに対して、座り込んで作業に抵抗する農民を機動隊がごぼう抜きにして、殴る蹴るの暴行を働くようになりました。その後、機動隊の暴力が常態化したそうです。

空港建設は機動隊の暴力を背景に、強引に進められたことによって私達農民と空港会社との間には深い溝ができました。反対同盟の「一切の話し合い拒否」「農地死守」「実力闘争」という闘いの原則は、政府・空港公団の暴力的手法によって生まれた抵抗の哲学なのです。

### ●地球環境と農業を破壊する成田空港

食料自給率の低下と地球温暖化への対策が求められる中、成田空港は二酸化炭素を大量に生み出し、地球温暖化を促進する拠点になっています。

航空需要の拡大の見込みも必要性も無いにもかかわらず、新たに1000畝もの土地を買収し、住民を追い出し、農業と環境を破壊し、さらに騒音被害を拡大して住民をさらに苦しめようとしています。

政府の観光立国政策は破産しています。巨大空港建設の時代は終わったのです。農業破壊に飽き足らず地球環境まで破壊する成田空港は廃港にするべきです。

### ●土地取得は違法。やぐらの撤去は不要

空港会社は反対同盟の所有する工作物を収去せよと言いますが、そもそもの土地買収が耕作者である市東家に無断での農地法違反の暴挙であり、農民として絶対に認められません。

私は市東さんと共に「三里塚産直の会」の生産者として野菜の生産と流通を担っています。無農薬の微生物豊かな私達の農地は、一朝一夕に作れるものではなく、長年の努力のたまものです。消費者会員にとっても死活的な農地なのです。

現在、政府の政策によって廃業する農家が続出しています。このままでは日本の農業は壊滅してしまいます。食料生産を守るためには、空港やダム、原発や軍事基地など環境破壊につながる政策を、一刻も早くやめなければなりません。市東さんの農地は貴重な優良農地です。どんな野菜でも作ることができます。

倒産目前で先行き不透明で、将来必要なくなる成田空港に、市東さんの農地を明け渡すことはできません。

### ●市東さんの農地と生活を守る盾

空港会社は市東さんの意思が変わらないとみるや、営農のための市道を封鎖し、第3誘導路を建設。市東さん宅と農地を分断し、居宅と天神峰の農地を鉄板フェンスで囲い込みました。

とんでもない人権侵害であり、悪質な嫌がらせに他なりません。市東さんと私達の怒りは増すばかりです。監視やぐら



反対同盟の看板とやぐらは、空港会社の人権侵害と無法な空港建設を告発するとともに、市東さんの人権と生活を守る盾になるものです。市東さんの農地と一体のものであり、「市東さんの農地を守る」という反対同盟の決意そのものです。だから絶対に撤去することはできません。



# 入国制限の緩和でなく、 機能強化の白紙撤回を！

## 世界では 新型コロナウイルス 再流行

政府は8日、水際対策としてこれまで10日間だった入国者待機期間を3日に短縮し、1月から停止していたビジネス関係者らの新規入国を認める入国制限の大幅な緩和に踏み切りました。

NAAの田村明比古社長は、先月末の記者会見で「他の国では自主隔離期間の短縮や免除を行っている」などと述べ、入国制限緩和の先導役を買って出ていました。

ところが、海外では新型コロナウイルスの再流行が始まっています。再び首都モスクワをロックダウンしたロシア。オランダでも一部ロックダウンを導入。1日の感染者が5万人を突破しているイギリス、ドイツは過去最多を更新中。韓国でも10月下旬から再び

増加し、1週間の平均感染者数が2000人を超えるなどアジアも増加傾向に入っています。

厚生労働省は連日、空港検疫における無症状感染者数の発表をしています。日本においても年末年始にかけ感染の急拡大が心配されます。コロナ患者を自宅に放置し、病院にもかかれないまま多くの方が亡くなった今夏の惨状が再び起きないとは限りません。第6波に備え、破壊されてきた医療体制の拡充こそ必要です。

「激増する観光客のための空港機能強化」という根拠は崩れています。観光客誘致のための入国制限の緩和ではなく、機能強化の白紙撤回こそが命を守る道です。

## 芝山町議場乱入事件の首謀者は相川勝重<sup>芝山町長</sup> 石井新二・石毛博道<sup>元町議会議員</sup>だ！ 集会会場貸し出し拒否を今すぐ撤回しろ！

芝山町による集会会場貸し出し拒否の取り消しを求める審査請求の口頭意見陳述からすでに2カ月が経とうとしています。ところが、いまだに結論が出ていません。審理員の質問への回答を町が引き延ばしているからです。

「器物破損の恐れ」があるとして町が出してきた「証拠」は相川勝重町長、石井新二・石毛博道（元町議会議員）が属していた熱

田派反対同盟という、私たちとはまったく別の団体が引き起こした1984年の芝山町議場乱入事件に関する無関係なものでした。さらに、成田市では会場貸し出しは許可されているにもかかわらず、なぜ芝山町はダメなのかという理由も町は示せていません。

これ以上の結論の引き延ばしは許されません。根拠なき会場貸し出し拒否はただちに撤回されなければなりません。ご注目を！

# 地域住民の声

今回は横芝光町と芝山町の住民から。住民に寄り添うと言いながら金もうけにしか関心のない空港会社。空港一辺倒の芝山町への怒りの声が寄せられました。

## ◆ハウスが2年で真っ黒。空港会社の金もうけのための犠牲もうたくさん。横芝光町 農業

空港会社がもうけるために何でおれたちが犠牲にならなくちゃいけないんだ。

B滑走路がつくられたとき飛行機は栗山川の方「を飛ぶと言ってたのに、実際は家のほぼ真上を飛んでいる。騒音だって一軒一軒回って調査をするべきだけど、されていない。

ハウスのビニールなんか2～3年で真っ黒なるんだよ。町にさんざん要求してようやく県の方で調べた

ら、細菌が原因とかいって飛行機と関係ないと言った。

しかし、よそのところでは4～5年はもつのに、おれのところは2～3年。

住民に寄り添うと言いながら被害住民が苦しんでいることを理解しようとしな。空港機能強化策でさらに被害が大きくなるだろう。空港会社は許せない。

## ◆芝山千代田駅周辺の再開発は住民のためのものではまったくくない。芝山町 自営業

先日、芝山町が都市計画で新たな町の顔と位置づけている芝山千代田駅周辺の再開発に関する説明会に出た。町はただ住宅を造るというだけで何の魅力もなく私たちの生活のことを考えているとは思えなかった。

そもそも空港機能強化で騒音がひどくなるのに、わざわざ外から来て住むような町には決してならないだろう。住民は置き去りだ。

## 11・27天神峰カフェにご参加を

11月27日正午、成田市天神峰の市東さん宅離れで天神峰カフェをオープンします。市東さんの耕す畑に建つ看板の修復・リニューアル作業を行う予定です。ぜひご参加下さい。先月は遠方からの参加者を交え意見交換を行いました(写真右)。お問い合わせは太郎良(たろうら) 陽一 090(1855)8189まで。



市東さん宅離れで(10月31日)